

実施概要

日 時：平成30年6月24日（日） 15：15～16：00
プログラム：シンポジウム「私たちの食卓に生きる 明治150年史」 エピローグ
3 高校と、大学生たちによる研究発表
発 表 者：平成30年度 大分県農業クラブ研究発表大会 最優秀校によるプロジェクト発表
「パークを中心とした循環型農業の展開 校内から地域へ」（玖珠美山高等学校）



※会場風景



※会場風景

〈発表したスライドの抜粋〉

**パークを中心とした循環型農業の展開
校内から地域へ Part V**
～ パークマットの地域への普及定着～

玖珠地域のために頑張ります
大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

産業廃棄物としての樹皮(パーク)

毎年
18万m³
産業廃棄物

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

この地域のトマト農家の問題点

- 高齢化
- 労働力不足
- 土壌病多発

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

パークマット普及体制完成

パークマット栽培推進協議会

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

見えてきた大きな課題

- パークマットの厚さは何cmがよい？
- 品種はどれがよい？
- 高品質・低コストなパークマット

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

研究施設お披露目式

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

ま と め

- ①栽培マニュアル作成に向けたデータ収集
- ②研究用プレス機による製造方法
- ③産学官からなる強固な普及体制

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

今 後 の 課 題

- ①大量生産に向けた企業連携
- ②パークマットのブランド化
- ③栽培方法のマニュアル化

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

パークの生産量

- ・ 日田玖珠年間
18万立方メートル
10万立方メートル パークとして
8万立方メートル 燃 焼
 発電
 木材乾燥
- ・ 18万立方メートル
これを燃やして発生する二酸化炭素に
換算すると 25200トンになる

大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜

実施概要

日 時 : 平成30年6月24日(日) 15:15~16:00

プログラム : シンポジウム「私たちの食卓に生きる 明治150年史」 エピローグ

3 高校と、大学生たちによる研究発表

発表者 : 平成30年度 大分県家庭クラブ研究発表大会 優秀校によるプロジェクト発表

「ベジタブル! de 食パンダフル!」 (中津北高等学校)

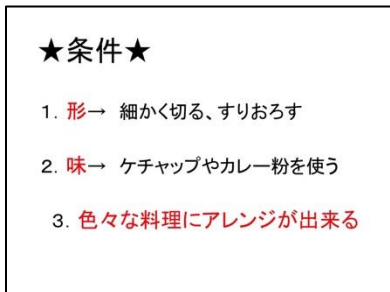


※会場風景



※会場風景

〈発表したスライドの抜粋〉



実施概要

日 時：平成30年6月24日（日） 15：15～16：00
プログラム：シンポジウム「私たちの食卓に生きる 明治150年史」 エピローグ
3 高校と、大学生たちによる研究発表
発 表 者：食を通した地域連携・地域活性化の実践発表
「高齢者の健康と楽しい食事」（宇佐産業科学高等学校）



※会場風景



※会場風景

〈発表したスライドの抜粋〉

高齢者の健康と楽しい食事
～笑顔がたえない毎日を送るためには～
大分県立宇佐産業科学高等学校・生活デザイン科2年
小幡久美子・古賀愛結美・廣崎楓華

宇佐市の現状

高齢者事業

高齢者ふれあいサロン	102
介護予防教室	147
認知症予防教室	20

生活デザイン科×高齢者～先輩方の取り組み～
コンフェクショナリー・フードビジネスの授業で
宇佐市の高齢者サロンと交流をしました。

普段の食事についてアンケート調査をしました

一緒にごはんを食べました

生活デザイン科×高齢者～先輩方の取り組み～
地域の高齢者サロンへ行き、おやつを食べながらの交流とレクリエーション体験をしました。

生活デザイン科×高齢者～先輩方の取り組み～
高齢者サロンで使えるレシピを作成しました。

高齢者の実態把握～アンケート調査～

- 朝食・昼食・夕食をきちんと食べている高齢者がほとんど。
- 自炊をしている人がほとんど。
- 昼食はラーメンや菓子パン等の簡単に食べられる食事が多かった。
- 宅配食の弁当を利用している人もいた。

認知症サポーター養成講座

認知症により食べ物を学び中

認知症に効果のある油の試験中

高齢者サロン訪問～レシピ普及に向けて～
高齢者の方との交流・認知症予防教室への参加・レシピ集の普及を目的に宇佐市上城井の高齢者サロンへ行きました。

まとめ

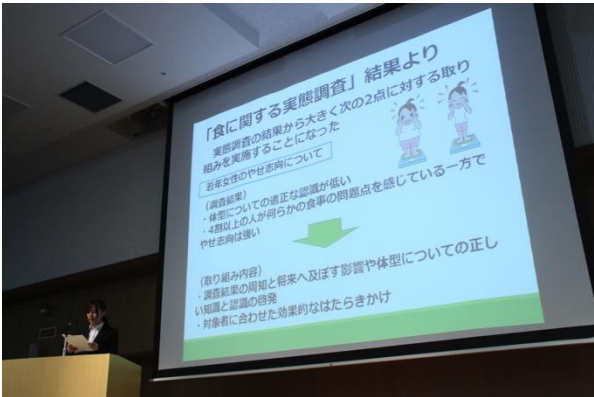
○食生活を改善することで**認知症予防や病気の予防**になる。

○食事は「何を食べるか」も重要であるが「**誰と食べるか**」も重要であると感じた。

今後も高齢者サロン交流を続けていきます！

実施概要

日 時：平成30年6月24日（日） 15：15～16：00
プログラム：シンポジウム「私たちの食卓に生きる 明治150年史」 エピローグ
3 高校と、大学生たちによる研究発表
発 表 者：魅力あふれる大学生生活応援プロジェクト発表
「味力あふれる大学生生活応援プロジェクト」（FES：立命館大学／APU／別府大学の学生たち）



※会場風景



※会場風景

〈発表したスライドの抜粋〉

味力あふれる大学生生活応援プロジェクト

別府大学食物栄養科学部食物栄養学科
4年 森 優香

目的
第2期大分県食育推進計画（平成23年3月）

- 食育のわかりやすい啓発
- 青・壮年期に対する食育の推進
- 生活習慣病予防のための食の環境整備

大学生を対象に「食に関する実態調査」実施（平成24年7-8月）

大学生の食の自立プロジェクト
「味力あふれる大学生生活応援プロジェクト」スタート

「食に関する実態調査」結果より
実態調査の結果から大きく次の2点に対する取り組みを実施することになった

若年女性のやせ志向について

（調査結果）

- ・体型についての適正な認識が低い
- ・4割以上の人が何らかの食事の問題点を感じている一方でやせ志向は強い

（取り組み内容）

- ・調査結果の周知と将来へ及ぼす影響や体型についての正しい知識と認識の啓発
- ・対象者に合わせた効果的なはたらきかけ

取り組み内容の紹介
平成25-29年度に実施した取り組みの紹介

大学生の食の自立プロジェクトということで、「大学生の食育は大学生の手で！」をモットーとしたプログラム

＜初年度（平成25年度）の主なスケジュール＞

- 8月：食育ボランティア養成講座（3日間）
- 1日目：講義と調理実習
- 2日目：講義と調理実習
- 3日目：調理実習とディスカッション
- 10月：天空祭（APUの大学祭）
- 11月：石垣祭（別府大学の大学祭）

食育サポーター
Food Education Supporter
FES

平成25年8月：食育ボランティア養成講座
＜養成講座1日目＞
講義「学生ボランティアに期待すること」
調理実習「簡単ビザ 他」

平成25年10月：天空祭（APUの大学祭）
SATシステムを用いた栄養指導
お箸の使い方ゲーム 等

平成25年11月：石垣祭（別府大学の大学祭）
SATシステムを用いた大学祭来場者への栄養指導
お箸の使い方ゲーム、パネル展示 等

平成26-29年の活動紹介
＜平成25年度のスケジュールと同様（内容は異なる）＞

- 8月：食育ボランティア養成講座（3日間）
- 10月：天空祭（APUの大学祭）
- 11月：石垣祭（別府大学の大学祭）

＜その他の活動＞

- APUでの料理教室（簡単料理のレクチャー）
- 別府市わくわく農産物フェア
- お弁当の日

平成30年度のスケジュール
今年度は3日間の養成講座とはせず、下記のスケジュールで「食育café」と題した講座を定期的に実施し、5回以上参加すると「食育サポーター（FES）」に認定するという形式で実施

初回の食育caféの様子（別府大学の中庭にて）